十ヶ年、一千萬石に 増米計畫更新

農林局が財務局と豫算折衝を開始

戰時食糧の増産は時下の急務にして然も内外地の米穀生産状況を通觀するとき米作適地たる朝鮮の増産は一大使命の下に強行さるべきものであるから總督府農林局では現行朝鮮増米計畫を更新して新規増産計畫を樹立すべく原案を作成し過般乾土地改良課長が東上し更に湯村農林局長が東上して中央政府と打合せた結果、中央に於ても朝鮮の増産計畫確立に絶大なる期待をかけてゐるので農林局では愈よ總督府獨自の立場において十ヶ年一千萬石増産計畫を樹立することとなり目下財務局と明年度豫算の折衝を開始してゐる

この計畫は土地改良に主眼を置き五十萬町歩程度の土地改良事業を實施する計畫である、しかして新規増産計畫は現行増産計畫を含んで樹立されるものである

貿易の綜合統制に 日本貿易會設立

日滿支貿易連絡會(第二日)

【東京電話】日滿支貿易連絡協議會第二日は八日午前企畫院において開催、輸出入機構に對する商工省原案を石黑貿易局長より説明

一、輸出入關係諸法令を可及的に整理統合して統制の簡易化を行ふ

状説明を行ひ

朝鮮、台灣における對滿支貿易については中央の方針に順應して現に行はれつゝある、外地に於ては數量、價格の統制は一本建となつてゐる、朝鮮において は朝鮮東亞貿易株式會社、台灣においては台灣東亞貿易株式會社 [illegible] 合をしてすでに數量、價格の全面にわたり一元的統制を實施してゐる、しかし現状にはなほ不充分な點があるので東亞貿易會社中に新たに商品別部會を設け機構の整理を行ふと共に漸次業者の利便に資するやう共したい

ついで滿洲貿易機構について生松滿洲國經濟部商務司長、森華北聯絡部經濟局司政部長よりそれぞれ現状を説明して最後に友邦各地關係官より内地貿易統制會の設立を要望して會議を行つた、なほ本協議會は當初三日間開催の豫定であつたが、問題の重大性にかんがみこれを一日追加することに決定した

輸出入數量並びに 價格統制の大綱

【東京電話】商工省では英國との貿易調整を南洋貿易會をして行はしめることとし八日輸出入調整機關ならびに輸出入調整品目を指定したが、商工省としては佛印に對し [illegible]

て行つた輸出入代行制度は次に對しては行はず、實績による割當主義をとり輸入についてのみ代行制を認めることとし輸出入數量ならびに價格統制の大綱を左の如く南洋貿易會に對して指示し、貿易會加盟の輸出入調整機關において輸出實績割當の細目輸出代行會社の選定などを決定せしめ十月十五日より實施するほか在泰邦人輸出同業會の結成をはかることとなつた

一、輸出については輸出代行制を [illegible] とらず本年六月末日をもつて終る過去三ヶ年の實績に應じて各調整機關において輸出總量の六割を輸出商に割當て三割を入札に一割を調整機關に保留せしめる

一、輸出調整機關は右の數量統制のほか價格統制を行ひ統制料を徴收する

一、價格統制實行確保のため各機關に價格査定委員會を設ける

一、現地泰バンコックに邦人商社の輸入同業會を設置し内地の輸出統制と連絡をとり價格手數料統制を行ふ

一、輸入については輸入代行制をとり各調整機關において代行商社を選定する

一、泰國向け輸出實績のある在日泰人商社は英泰の資金凍結令に [illegible] の實績の邦人商社に對する割當についてはそれぞれ [illegible] 各調整機關にお いて考慮する

國內體制の整備

日商が當局に建議

【東京電話】日本商工會議所では七日の役員會において國內體制の整備強化に關する建議案を可決したが、同日商議員會ならびに地方委員會を開催、かねて時局經濟對策委員會において研究成案を得た商業者整備問題、轉廢業者の租税減免、徴收猶豫問題、營業免許制運用問題に關する意見案を附議、一部修正のうへ、それぞれ可決、直ちに關係政府當局に建議することになつた

意見書要旨左の如し

一、轉廢業者整備に關する緊急對策に關する意見

[illegible]

東海鰛巾着網漁組 生鰛建値決る

【元山】東海鰛巾着網漁業組合では九月十五日以降同末日に至る生鰛建値を六圓八十五錢に決定した

京商議員の候補者 十日か十一日に發表

有權者名簿 縱覽打切り

[illegible]

水原、鐵原に 商議設置内定

[illegible] 總督府では水原ならびに鐵原の兩地に商工會議所の設置を認める方針に内定近く正式申請をまつて認可することとなつた、この兩會議所が認可されゝば鮮内の會議所は二十八ヶ所となる、なほ沙里院でも [illegible]

朝鮮耐火煉瓦販賣業組合を設立

[illegible]

資材入手難と 人夫供給不足

間組堀越常務は語る

工事の惱み

[illegible]

平南篇(下)

北鮮は豐富な電力の基礎に立つて驚異的發展コースを一足早く進發した、今や西鮮は世界に誇る無煙炭鑛と鐵鑛石の基礎に東亞共榮圈に雄飛すべく躍り出してゐる、その巨大な進展の姿態は北鮮の發展に遜色なき

滿々

たる自信を有してゐる、なぜならば、そこには日本一の良質と半島生産の大半を占むる平南道の無煙炭、日本第一位の金鑛脈が包藏されてゐるからである、"無煙炭は燃えぬ炭"などとは遠い昔のこと、今では大型機關車でも七割を無煙炭に仰ぎ、家庭燃料としても上乘の格價をもつ——

まづ平壤を中心に、小島の背ほどもなく東へ連なる膨大な山地帶は果て知れぬ貴重な無煙炭の一大寶庫である、この寶庫を拓く西鮮中央鑛道は平壤から東へ凡そ四十粁、その間幾度でも石炭の隧道を潜つて走るといふ豪勢さ、德山炭坑を右に眺めながらやがて朝鮮無煙炭の黒鑛炭坑に至る、こゝの増産運動首腦班は同社々長、鑛山總監顧問人見次郎氏自らの出馬であるから全山はとくに——

素晴しい

活氣を呈してゐる、『さあござんなれ、日に貨車百輛でも積込んでみせる』といふ"黒鑛"といふ名の示すごとく貯炭場は出恰も超弩級戰艦の巨大な雄姿にも似てわれ〳〵の眼界に迫る幾許かの巨艦(貯炭場)は雨靄相合んで濛々たる黒煙を吐く無敵艦隊の威容を備へてゐる、これを目睹しては『冬の心配など絶對にあり得ない』といふ心強さを直感する、次から次へと繰り込む西鮮の貨車群、眞黒い煙を天に沖し貯炭場からの積込み作業、これらは人間動員と機動の逞しき

交錯

となつて眞に地軸に挑む生産の戰場の姿である、貯炭があり餘るからといつて増産を怠るやうでは斷じてならない、炭坑と水産とは一脈相通じる性格を有ち、鑛が餘計に獲れるからといつて好機を逸したなら、それこそ取返へしがつかない、獲れる時に全力を擧げて、増産に増産の拍車をくることこそ炭坑本來の使命かくて、同社の西田平壤鑛業所長ならびに現場の總指揮官池同所副長の持論と實踐は、よく〇〇〇〇名の勞務員にまで徹して稼働率は八八パーセント、増産期間中たまたま輸送が減つても採炭は逆にぐん〳〵増大して

と克服してゐる

これは同炭坑が黒鑛路標、石灰洞と各坑口ごとに結成した炭坑報國の偉大な推進の成果であつて、毎月二度の各主任常會において、まづ勞務陣の講が興まれば、愛國日を紀念として第一第二各公休日の朝前には坑を前にして、われらの目標、家庭の目標、現場の目標がそれぞれ

展開する鑛山増産運動 驚異的な増産陣 (中)

生擴に挑む逞しさ!

豫定線を遙かに凌ぎ、遂に一日の採炭量〇〇〇噸といふ驚異的新記録を現出してゐる、だから何時いかなる事態に當面しようとも斷じてこの生産記録は可能だといふ滿々たる自信に漲つてゐる

炭坑は他の金屬鑛山に比して勞務員や資材に一層惱みが深刻だが、しかも八月の水害といふ試煉をみ

發明工夫

となつて强陣を張り、これあへられ、それから一週間は必ずその國語が常用されるので、女

池田總司令官から指示される、全山はあたかも軍艦のやうなもの、司令官以下乘組全員が一體となつて一人の冗員なく、一刻の時間に無駄があつてはならない、時には無理もありうけれども、無理をせねばこの非常時は乘切れぬのだ、それがやがて

貯金取扱には專任係員を置くほど、その額一萬二千圓に達してゐる、毎週一回全勞務員は入坑前に全山の家族とゝもに總出で山神社に朝拜する、その際〃今週はこの國語を常用しませう〃と『オハヨウ』とか『コンニチハ』などといふ簡單な國語が敎へられ、それから一週間は必ずその國語が常用されるので、女

てこそ眞にお國に御奉公できるといふ總訓練、總動きの態勢は軍艦〃黒鑛〃の眞摯敢闘、不退轉の決意である、黒鑛炭坑における、このくろがねの總訓練は一刻の時も、一本の釘、一塊の炭も決して無駄にはしてゐない第一回の廢品回收週間には勞務員の各家庭から五千六百圓にも上る廢品が集められ、勞務員の

子供でも行き交ふ人々に『オハヨウゴザイマス』と片言混りの挨拶をする、かうした總訓練においてわれ〳〵はわが無敵艦隊を髣髴せしめる戰艦〃黒鑛〃の堂々たる威容に

絶大

の信頼を捧げるとゝもに、その生擴進軍には頭の下がる感激を覺ゆるほどだ、さらに幾脇をもつて算せられる梓洞、德川の大無煙炭地帶が西鮮の建設とゝもに逞しき開拓を目前に控へてゐるのだが、この意氣をもつて推進したならば必ずや東亞共榮圈に朝鮮の無煙炭が一段の重要地位を確保するに進ひないと思はれる

黒鑛炭坑から平元線に併行してさらに東に車を駛せ東明館の名勝を背でながら三成鑛業の成川鑛山に至ると、こゝは鉛と亞鉛の選鑛場を有ち、わが國需要の一割を供給してゐる、鉛と亞鉛鑛は佛印が唯一の强敵であつて現状では佛印と門司間と、この成川鑛山と門司間との輸送費が同じだといふ甚だ不利な立場にあり、西鮮南部線の完成を鶴首して待つてゐる、紅葉を

至りさらに

×××

日本鑛業

×××

の成興金山を訪れる、秋光は燦と映えて一萬餘の人口を有つ美しい金山の街成興をそこに發見する、二、三年前までは人家全く影を見せなかつた僻寒由の一帶には今は學校、病院、武道場、共同浴場、市場、集會所、運動場から新式トーキー二台を据付け千六百人を收容する堂々たる映畫劇場もあつて至れり盡せりの施設がある、これが凡て兩三年間の所産であるだけに實に美しく新しき鑛業の街である、坪當百卅圓を投じた

(豪勢)

な鑛夫長屋約二千戸の建設的な秩序もそこにはある、勵軍、國婦、愛婦、警防團の中堅組織から日下のところ五十四班の愛國班も生れてゐるといふ歴史的產業と西鮮台電の斷氣をして一層意義づけ、北鮮の躍進をも凌ぐ西鮮の重要性が天下に確認せられるのであらう

ましへる美林地帶を縫つて陽德に至りさらに

一つの形を街成するす金山であるだけに世四の鑛區はぐん〳〵擴張する一方で今年の増產期間の成果は完全に平北の雲山を凌駕して半島第一位を自認し、明年は北海道鴻之舞金山を追ひ拔いて斷然日本一の金山となり鋼山としても日本の二、三位は下るまいとの自負を有してゐる、豪壯な規模と堂々たる偉力はまた日鑛の威容そのものでもあり、產金國策の王座でもある

かくて平南道は日本一の金山と日本一の無煙炭を誇る地下資源の一大寶庫として西鮮に屹として位置してある、今や地下資源の開發は不動の國策であつて、山師的事業家の私物ではない、平南道が目指す高度國防國家建設への推進に到し官民各方面が深い理解をもつて大局的見地から積極的な利便と協力を拔擲するならば鴨綠江の發電所と西鮮合電の斷氣

大區間の海上 運賃近く決定

遞信局はさきに全鮮各地區別の沿岸航路運賃の公定をなしたが、引つづき西鮮、南鮮、北鮮の大地區相互間、遠距離各港間相互間大區間未設定地區の運賃の公定を急ぎつゝあるので近く大區間運賃の指定をみることになつた、これで鮮

なほ、常務は九日から西北鮮各現場を見て二十三日頃再度入城歸東の豫定である

借方・貸方

鮮米の第一回收穫豫想二千四百二十一萬石▲聊か我々の豫想より少いがまず〳〵一安心といふところ

▲植付完了當時は二千八百萬石、强氣筋は三千萬石說さへ唱へたものだが▲其後の天候で段々一般の豫想も弱氣になり▲最近では二千五百萬石說が支配的だつた▲しかしまだあと二回豫想もあり案外二千五百萬石說が當るかもしれない▲この豫想に基いて、遙かに需給推算をたて、配給計畫をたてるべきは勿論だが▲それと同時に盜と正月が一緒に來たような農家の懷工合をよほどよく指導してやらぬと▲折角の增收が何にもならず、折角の奬勵金が奬勵金にならぬ▲それに一般消費者にこの增收で白い飯が食へるといつた氣んでもない不心得者がないとはいへず▲この方面の消費規正もウンとやる必要がある▲とにかく米は穫れた穫れたでまた心配があるが▲とにかく豐作であるといふことは何といつても明らかだ

夕刊後の市況

◇一一 取引所出來值

鮮米新五七、〇五▲朝鮮機械四三、〇▲西鮮化學一一、〇——〇、九▲出來高二千枚

◇一 横濱生絲後場大引

十月限	四九	十一月限 四〇
十二月限	三〇六	一月限 三二六
二月限	三三三	

内海上輸送資の統制は愈々警となるなほ同時に船舶の指定も考慮される

體育

榮えある代表陣

野球、ラグビーを除く十三競技 八日、百九十四名を決定

決戰體制下に迎へる綜國の體育祭典、厚生省主催第十二回明治神宮國民體育大會は銃後國民不退轉の意氣を昂揚して、來る卅一日から十一月三日まで四日間に亘つて明治神宮外苑を中心に東京で決行することになつたが、わが半島では國民最高の榮譽として明治神宮大前に不斷鍛へた體力と競技を奉納、聖地での競技を通して皇國臣民たる矜持と自覺を吾人らに把握さすべく今度も敢然參加に決定、これが代表陣に對しては朝鮮體育協會で朝鮮豫選の結果成績を中心に詮衡中であつたが、八日未定の野球、ラグビー兩競技を除いて十三の競技部門の役員及び代表競技者ならびに本部役員ら百九十四名をあげて發表した

それによると團長に桂社會教育課長、副團長に山路事務官、山本總督府屬託、總監督に阿部總督府屬託、顧問には眞崎學務課長、

水田財務局長以下備井事務官、大竹與思哲々長、鈴川京畿道知事を推戴、各競技部門には兩監督工夫による精銳部隊で堂々の布陣ぶりである

なほラグビー部代表は一般中等兩總部は豫選の結果によつて決定、野球部は厚生省發表の要項をまつて京城實業野球聯盟から選抜のはずである、選ばれた榮ある代表陣容は左の通り

◇團長 桂琉淳(總務局社會教育課長)

◇副團長 山路清(總督府事務官)山本壽吉太(總督府囑託)

◇總監督 阿部國明(同上)

◇顧問 眞崎長年(學務局長)水田直昌(財務局長)備井忠平(審議室事務官)大竹十郎(朝鮮體育會々長)鈴川壽男(京畿道知事)

◇庶務委員 伊山光禧(學務局社會教育課)三木武(同上)

◇演技監督 眞崎光雄(京城師範教官)相原美治(淑明女子)

◇演技委員 金松正淵(總督府囑託)金村龍九(學務局社會教育課)安田重春(同上)中野宗助(同上)

◇劍道部 中島光三(窒素肥料)福元耕夫(新義州國民校)島中及雄(京畿道警察部)高村哲夫(殖銀)泊廣道(龍山署)

◇柔道部 結城正俊(江原道警察部)島井直富(窒素肥料)江藤辰五郎(阿峴國民校)森良雄(咸南道警察部)

◇弓道部 富永忠良(專賣局)金森秀一(同)山本秀夫(慶南商業)島田ツマ子(釜山高女)

◇陸上競技部 ▲總監督 喜田勳(鐵道局)▲監督中出安治(鮮銀)池尻正二(東京火災)▲選手金裕堤(登山馬)(遞信局)…

[illegible]

◇國防競技部 ▲監督丸谷一之(滿州農業)▲行軍隊長猪川吉藤(同)松山義雄(滿州商業)竹村正雄(同)熊川新一郎(同)坂口繁夫(同)坂田啓助(同)玉川弘祉(滿州農業)安原忠男(同)金城清光(同)山住泰任(同)北村剛宏(同)木山壽善允(同)田村榮健(同)山本一夫(同)松本雄次郎(同)光原嘉康(滿州農業)上原貞雄(同)

◇蹴球部 ▲監督山川拓(學務局編輯課)▲主務石山正夫(日本穀產)金信福(同)安田晶淑(同)金本寅俊(同)南山鍾德(同)高島謙(同)中平明緒(同)正木仁俊(同)國本根鎬(同)松本在憲(同)金海東信

◇籠球部 ▲監督安本奎(敎師)▲選手金村相信(新興)

◇排球部 ▲監督北岡龍水(京城師)大塚一夫(同)坂井賢秋(同)青木新(同)安田昇(同)河内淑(同)梅村太郎(同)[illegible]

◇漕艇部 ▲責任者島政男(遞信局)▲部長黑田宗天(同)

◇庭球部 ▲責任落合格一(殖銀)▲監督新城康弘(東洋拓殖)▲選手熊野御堂公輔(鐵業振興)安井源助(殖銀)平沼正玄(東亜日)本田信一(同)黄変連(江華)林憲玉(江華高)

◇體操部 北岡龍水(京城師)

◇自轉車部 ▲監督倆水信行(京城合泉町)▲選手興本鎬弼(京城清涼里町)金山龍桓(同)劉講浩(平壤)宮本源次郎(咸南端川)

秋の六大學野球戰

【第四週目豫想】

開幕以來三週を了へた東京六大學秋季リーグ戰は、愈よ大詰に近づき來る十二日明治對東大、法政對早大、慶應對立教の三試合を擧行する、このうち慶立戰は早明を制し法政と引分けた無敗の慶應にとつては久しぶりの優勝決定戰であるからその途路を阻まんとする立教の粘ばりと相俟つて興味深い一戰であります、明治を倒した早大と柚木の好調に躍然者の覇者たる實力を恢り返した法政との顛合せも見逃せぬ試合である

明帝戰

明治—東大、たとへ早慶に敗退して衝擊つゝきの明治であつてもまさか東大には

早法戰

對立教戰の法政と對慶應戰の法政は全く異つてゐたがこの原因か主軸柚木の好調

慶立戰

勝機が眼前にぶら下つてゐる慶應にとつてまさに乾坤一擲の試合である、若しこ

[illegible]

全國一齊に擧行

實施全計畫愈よ決定

明治神宮體育大會

【東京電話】厚生省では本年度明治神宮國民體育大會地方大會につ いては特に中央大會とゝもに重點を置くといふ大會最高方針にもとづいて驚く全國民參加のもとに盛大なる大會開催を目指して慎重實施計畫を練つてゐたが、この ほど全計畫が決定、いよ〳〵本年度から農村會と全面的協力のもとに隣組、町內會に呼びかけるのをはじめ體育委員、大日本青少年團、在鄉軍人、警防團婦人會も參加な

つた

同大會は午前十一時から約四十分間本大會會場の明治神宮外苑競技場よりラジオ中繼によつて全國一齊に行はれ大會委員長武井人口局長の開會の辭、神宮遙拜、神宮大會の歌合唱に續き會長小泉厚相の挨拶、十一時十五分より武井委員長自らの號令に併せて全國各會場の觀衆、役員選手一同厚生體操、ラジオ體操大日本國民體操を行ふもので十一時四十分終了以後各會場ともそれ〳〵地方色豐かな運動會、集團行進、武道會を擧行せしめることになつてゐる

籠球半島代表 壯行試合

十日に開催

朝鮮籠協では明治神宮國民體育大會への籠球半島代表壯行試合を、十日午後七時半から京城鐘路中央基督教靑年會館體育館で擧行、試合組合せ左の通り

◇府外試合

協會——重正(七時半)

◇派遣代表

一般——延專(八時半)

第一回朝鮮學生戰力增强 綜合體育大會

十・十一日に開催を變更

半島學生體育陣が實戰即應の臨戰態勢に火の手をあげる朝鮮體協主催の第一回朝鮮學生戰力增强綜合體育大會は半島大學高專を擧げて擧行豫定の十一、十二の兩日が防空演習に當るので、朝鮮體協では會期を十、十一日の兩日に繰上ることに決定、騎道だけは十二日行ふことになつた、各競技時間と場所の日程は左の如くである

◇第一日(十日)▲開會式(一時半、京城運動場)▲柔道(九時、長谷川町講道館)▲劍道(二時半、倶樂部町法學道場)▲國防競技(三時、京城運動場)▲蹴球(三時、安岩町普專球場)▲軟式庭球(時間未定、京城運動場)▲籠球(三時、京城運動場)▲排球(三時、京城運動場)▲卓球(未定)

◇第二日(十一日)▲劍道(一時半、光化門通警察官講習所道場)▲弓道(九時、黃金町高商道場)▲相撲(九時、京城運動場)▲滑空訓練(九時、汝矣島飛行場)▲機械訓練(九時、上往十里町自動車運轉養成所)▲陸上(九時、京城運動場)漕艇(九時、漢江)▲蹴球(九時準決勝、普專球場三時、決勝京城運動場)▲籠球(九時京城運動場)▲排球(一時半、京城運動場)▲體操(期日未定、京城運動場)

◇第三日(十二日)騎道(八時、新堂町乘馬俱樂部馬場)

殊勲甲の軍用鳩
『七十七號』に捧げる感激の詩

【東京電話】軍の重大任務をかよわい翼に託して砲煙彈雨下を潜り抜け致命傷をうけながらも遂に勤め果し死の傳令となつて表彰された軍用鳩のため所屬部隊長が感激の餘り詩を捧げてこの物いはぬ戰士の霊を慰めたいといふ戰時を飾る一話の佳話

陸軍省ではさきに功績顯著な殊勲の鳩五十二羽に對して事變以來最初の論功を行ひその功を表彰したがその中でも軍用鳩の殊勲甲ともいふべき甲功章を授與されたのは七十七號以下十九羽だつた、この殊勲の筆頭七十七號は昭和十三年五月二十二日○○部隊が山西省明縣西北方下窰附近で頑敵に激戰苦鬪中に陷つた際同部隊から信書管を託されて本部に飛翔する途中敵彈に腹部を射たれてあはや地上に落下せんとしたが自己の責任に重大性を知つたか勇を鼓して再び空に舞ひ上り鮮血に塗れつゝ本部に到達、任務は遂行したがそのまゝ息を引きとつたこの可憐にも勇ましい鳩の通信によつて本部から直ちに救援隊が出動し○○部隊を窮地から救つたのだつたこの○○部隊の當時の部隊長がいま京畿道首善會社に勤務してゐる鈴木四郎中尉で『七十七號』の表彰を知つて非常に感激感興の湧くままに筆をとつて『軍用鳩七十七號』の詩をものし同僚でこの話に感激した作曲家石渡寛氏の手でこのほど完成したのでこれを『七十七號』の靈に捧げ功績を稱へた、以下詩の一つ

わが隊の急を告ぐると
舞ひあがり
汝が翼の白光る
まさに今なほ目にぞ見ゆ
あゝ七十七號の英靈よ
安らかにあれかし
甲功章を賜はれり

壯絶·曉の電撃戰
大學專門 學校聯合演習迫る

戰時體制下に相應しく今年の第十回大學、專門學校聯合演習がかつてない壯烈雄大な想定の下に來る廿日午後から廿一日拂曉にかけて汝矣島附近から府內敦岩町にかけて展開され、そのあとで學校總力隊の結成式が擧行される、參加校は城大、同豫科、京城醫專、高工、高商、水原高農、京城師範高學年生約四千名で、廿日午後四時頃から汝矣島附近に集結した兩軍が壯烈な渡過河戰も織込まれ府內敦岩町に移動して午前七時突撃戰をもつて終了する豫定になつてゐる、同日は拂曉防空演習實施中でもあり、特に軍當局でも積極的な援助をなす筈の出るやうな攻防戰のうちに演習は一つの幾多の英靈に衷心からの參拜を濟ませ、感さぬ修古談に花を咲かせた

凛々し女子も參加
直後學校總力隊結成

聯合演習が終つた廿一日午前十時からは崇丘中學校附近の廣場で前記學校のほか延禧、普成、齒科醫專、セブランス、梨花女專、淑明女專、女子醫專、女子師範などの各校も參加して七千五百名の校長、教職員、生徒の總力隊結成式が南總督、板垣軍司令官、水津京城師團長、高橋軍參謀長の臨場下に擧行されるが、結成式には自動車、騎馬、自轉車隊等の機甲部隊が參加、女子專門學校生徒も男子生徒に伍して堂々の分列行進をなして總督の視閱を受けることになつて居り式は青年學徒に賜りたる詔書奉讀に始まり、總督訓示に次ぎ總督に對する誓詞も行はれる豫定で盛しい總力隊首途に相應しい壯烈な分列式で女子生徒も動員するだけに當日の盛觀が期待されてゐる

英靈に集ふ
日露戰の老勇士

【東京電話】感激の靖國神社秋季臨時大祭も後一週間あまりに迫つた八日午前十時ごろ同神社御手洗の前で山高帽に紋付袴姿のお爺さんが中近衞第五日露役戰友會」と書いた黄色の旗を押立てゝそれを取巻くいづれも村長さん風のお爺さん連五、六十名の一團が參詣人の目をひいた、これは過ぐる日露戰役當時鴨綠江、遼陽、沙河、奉天等の戰場を馳せた近衞步兵第五中隊現存の老勇士たちで、戰國多難な折からこの無二の戰友などがその居所も判らずバラ／＼になつてゐるのは殘念だと、同隊の勇士神奈川縣茅ケ崎町役場兵事係島崎貞造さんほか數名が發起人となりそれからそれへと、記憶や噂を辿りに戰友會結成の回覽狀を廻し、やうやく今日その苦心が結實したものだ、當時の中隊長千葉市居住の岩田加太郎退役少將をはじめ神奈川、千葉、茨城など東京近縣からこの報に老軀もいとはぬ健氣な御隣居さんが續々參集、三十六年振りに見る元氣な戰友の姿にすつかり若返り一同揃つて社頭に參列、

"六年振りに第一線へ"
谷重西大門新署長着任

新任の京城西大門警察署長谷重榮作警視(五〇)は、やゑ子夫人(四七)同伴で八日午後一時十五分京城驛着木澤警務主任以下幹部、警防團員管內有志多數の出迎へを受け直ちに朝鮮神宮へ參拜、就任の奉告をなした後署員の點呼を行つた、署長室に寛いだところへ新任の第一聲を訊く【寫眞＝谷重署長】

「やあ、萬事よろしく賴む、抱負か…暫らく第一線を離れてゐたが六年ぶりで再び一線に起つことになりましたので非常に重責を感じる次第だ、幸に京城には上司をはじめ同僚にも知己が多いから倒指導鞭撻を乞うて銃後治安の全きを期して職域奉公の實を擧げる覺悟です、一言にしていへば第一線に起つわれ／＼は實踐躬行で民衆と手を握り銃後を守ることが何より緊要と信じます」

石渡仁川署長着任

【仁川電話】咸北道高等課長から仁川警察署長に榮轉した石渡信太郎警視は八日午後四時五十五分上仁川驛着で仁川警察署員、警防團員ほか官民多數の出迎をうけて着任、仁川神社參拜後、仁川閣で夕食をしたゝめ山手町の官舍に落ちついたが、着任の第一聲を左の如く語つた

永らく第一線に起たなかつたので司法探偵の呼吸を忘れた感がするが府民各位の援助を得て初步から勉強し直したいと思ふ、とに角一生懸命勉強して府民各位の御期待に副ひたいと思つてゐる

お國料理も飛出す
時間と費用と榮養の合理化
"皆勞三婦人"の共同炊事

『今晩のお獻立は蒟蒻と玉葱、牛肉の炊めに、胡麻味噌の和へ物、それから松たけのおすましで合計二圓七十錢也――』

これが三家庭十一人に配給されるとなると、一人分僅か廿四錢五厘なにがしにしかならないことになる、物價高で配給難の折から、これほどやすく、しかもこれほど合理的な料理法はまたとない、机の上や頭で捻げただけでは到底簡單に現はれることの數字も世の奧さまがたはどれほど台所の實績として見出してゐることだらう、ところが生活が多角的になつて時間と勞力と榮養の三つが交叉した上に人間の鑑が置かれるやうになると、その際決斷は奧さま連の腕に任さざるを得なくなつた、そして、この若い夫人三人が集つて實踐する共同炊事こそ、文句なしの臨戰生活に踏み出した實踐な姿なのだ――京城南米倉町一ノ一六〇鈴木ふみ子さん、高田春子さんの三家庭は

昨年　十一月ごろから"友の會"で計畫されたこの共同炊事をけふまで夜食だけ一ケ年間續けて相當な成績をあげてゐる

その臺所メモをチョイとのぞくと、先づ三人で每日の炊事當番を決めて、當番にあたつたものは每月米料理の獻立を作つてそれに基いて獻立によつて買出しからはじめて調理、炊事を一人で出來上つたものは各家庭に配給する、すべてが共同購入なので一般に買ふ値段よりも遙かに安く、例へば一家庭で切身百匁四十錢の魚を買ふ場合でも、共同購入なら丸身で八十錢に充たない場合がある、かうして當番から出たときはスープやでんぷにするなど、無駄なく榮養の點で食事が攝られるわけ――當番の家庭は三時ごろからその晩の買出しにかゝつて五時半ごろ配給を終り、日那樣の歸る時刻には三家庭お揃ひの食膳が待つてゐると

いふ類のない愛國班風景をかもし出す

從つて"よほど家庭の性格や事情が似てゐないと永つづき出來ませんわ"と仰有る通り、氣もあへばうまも合ふ御婦人連ばかり――ところでその一切の支出は一日の一家庭の費用を當番が傳票に書き込み回覽してあとから徵收する、調味料

燃料　はこれもすべて共同購入――だから樂だ、遊んでゐるといふわけではない、非番の夫人は編物や洗濯物を持ち寄つて、こゝでも寸時を惜む作業がつゞけられるのだ、殊に高田夫人は洋裁がお上手なのでこれを一手にし鈴木夫人は和服の裁縫がお上手なのでこれも一手に――かうして勞力と時間と食糧と、紙上に描かれるプラン以上にはつきりとした實績があらはれる

『平均二千四百カロリーを標準としてゐますので榮養價は決してかたよりません、子供のお樂

なんか隨分むつかしいんですけど、今では慣れて、かへつて欣ぶやうになりましたわ、一ケ月どれほどの費用が浮ぶのかまだ統計を取つたことはありませんけど、明細に行つてますから經濟的なことだけは保證します、病氣なんかの時は本當に共同炊事の有難味が判りますわ、それに思はぬほど自分の仕事が捗りますし、皆勞運動もさかんに叫ばれてゐるときですからこの時間を利用して何かお役に立つこともして見たいと考へてゐます、それから――もう一つ

面白　いのはお國料理の飛び出すこと ですわ、お互 にまだ食べたことのないお惣菜を配給されて、大變おいしく頂いたことがありました、こんなことも共同炊事の愉しさですわね』

今晩はなアに――と顔をのぞける坊やの顔も明るい仲よし炊事場だつた【寫眞＝共同炊事】

御慶びの宮樣へ孔雀を獻上
佛印の磐井部隊長から

【福岡電話】遙な熱帶の第一線から三笠宮殿下の御成婚を御慶び申上げて獻上される美しい一番の孔雀と翡翠甲一頭が日航の金丸末義機長に託されて八日午後三時福岡に飛來した、この獻上品は宮樣が陸士御在學中教官として御薰育申上げた磐井虎二郎部隊長が現任地佛印において殿下の御慶事を拜承、御慶しさのあまり欣激をこめて獻上申上げるになつたものである、明日から宮家に飼養されることになつた光榮の孔雀は生後六ケ月でサイゴン附近の河邊に棲息する眞孔雀で今日まで現地隊內で磐井部隊長をはじめ兵隊さんたちが心を配つて飼ひ馴らしたものである、なほこの獻上品は同日午後四時半東京着、同機長が直接宮家に持參獻上申上げる

大陸文化の父
戰火から貴重な學術資料を守る
論功に輝やく新城博士

【東京電話】第四十一回支那事變戰死者論功行賞に武勳の第十產と肩を並べて大陸文化の父理學博士故新城新藏氏が勳一等旭日大綬章を受けられた

氏は福島縣人、新城吉右衞門氏の六男で明治六年生れ、明治廿八年帝大理科物理學科を卒業し京都帝大理工科工學教授に任ぜられ同八年辭任、昭和四年京大總長に任じ、上海自然科學研究所長となる、渡支以來排日抗日に汲々たる蔣政權の壓制下にありながら敢然と日支文化提携のために支那文化の再建のため涙ぐましい努力を傾注し顯著な功績を殘した

昭和十二年八月戰火が上海に及んだ頃も

硝煙　の佛租界にある同研究所にあつて抗日テロ團の重圍下に研究を續け支那人學術機關が戰火に曝され中國學徒が粒々辛苦して蒐集した圖書、學術標本、研究資料が烏有に歸してしまふのを憂へ軍當局と協力して文化の破壞を防止する一方、東亞同文書院、滿鐵上海事務所の援助を得て戰火の中から貴重なる文化資料を蒐集、軍指導の下に占領地區圖書文獻接收委員會を設置するとともに科學者の立場から更に學術標本蒐集を眼目に上海自然科學研究所を主體として學術資料接收委員會を結成して自ら陣頭に立つて蒐集に着手したのであつた、更に南京陷落するや直ちに赴寧し昭和十三年二月南京中央大學、中央研究院を始め各教育機關の圖書、學術資料の蒐集、整理の指導に

酷暑　の中に中央研究院の一室で汗と埃にまみれて研究資料を整理中極度の疲勞と惡性の大腸カタルのため遂に十四年八月一日史蹟の調査に奔走、續いて杭州に向ひ杭州圖書館の貴重な資料を戰火から守り六十六歳の老軀に鞭つて支那文化再建のために邁進した、第一回赴寧して學術標本を中央に蒐集し百度の

惜まれつつ逝去した、博士に守られ戰火を免れた五十餘萬册の圖書文獻と十萬餘點の學術標本類は今國民政府に返還され輝しき生成發展の途上にある新中國の文化向上に至大なる貢獻をなしてゐる、汪精衞氏を始め新興支那の人々は故博士の偉業に心から景仰し『大陸文化の父』として顯彰し記念事業をも計畫中である

去八日退鮮に際し御見送被下誠に難有厚く御禮申上候併而多年に亘る御厚誼奉謝候
横山俊久
美代子
千代子

總督・馬車で行く
伊藤公の愛用車を更生

"秋に馬車に乘つて"と洒落れたわけでもあるまいが"パカ、パカ、パカ"と秋空に心地よく蹄の音をひゞかせて南總督が二頭立て馬車でソウル大路を驅けて行く――これは人にはいはねど「ガソリン一滴は血の一滴」といふ深い心遣りから、今後は遠出の外は馬車と決めて九月から實行してゐるガソリン節約のための"總督馬車で行く"の圖である、然もこの馬車はその昔伊藤統監が朱塗りの豪華さを誇つて乘り廻したといふ由緒あるもので永年倉庫に忘れられた形で捨て置かれたものを勿體ないと引出し朱色を黒色に塗り替へた――廢物利用の乘物もの代用品を買ふために莫大な金をかけたそんぢよ其處らの流行探究者とは凡そ意味の違ふものである【寫眞＝馬車に乘る南總督と近藤秘書官】

鮮産品が佛印進駐
ハノイの國際見本市博へ參加

東亞共榮圈確立のために佛印も一役買つて來る十一月卅日から十二月廿八日まで佛印ハノイで開催する國際見本市博覽會に鮮産品が出陳される――佛印側では先頃見本市博覽會を開催するについて我國からも參加して欲しいと依頼して來たので東亞共榮圈の一環たる佛印との交易は益々促進させる必要から內地では商工省その他關係各省が後援して南洋貿易協會を出品機關として各地の出品物を取纏めて出陳することに決定、一方朝鮮へは拓務省から參加方を勸めて來たので總督府でも鮮産品の佛印進出は大いに歡迎するところなので朝鮮貿易協會が中心となり準備を進めてゐたが、次の商品が勝れてハノイの博覽會に陳列されることになり一兩日中に神戶まで發送する、なほ見本市出品目錄、映畫、台帳、寫眞、解說書などは貿易協會の中畑主事が携帶して八日午後十時京城驛を出發、會期中現地で出品物や映畫を通して朝鮮の持つ資力を南方の人々に紹介する(括弧內は出品者及び地名)

洗濯石鹼ニッサン(朝鮮油脂)同サクラニホン、化粧石鹼(協同油脂)▼塗料(朝鮮塗料工業組合)▼ローソク(協同油脂)以上京城▼ローソク(立石商店、釜山)▼トマトサージン▼ペパサージン(朝鮮罐詰組合、京城)▼海參(朝鮮海産物)▼寒天(朝鮮寒天輸出組合、京城)▼[illegible]クリスタル(忠北炭酸、京城)▼干果製品(鮮光社、大邱)▼果汁、製藥、紅蔘、白蔘、人參エッキス(專賣局)▼布帛造化(老江原商店、釜山)▼布帛玩具(全北工業振興會、全州)▼ブラシ(全南商工獎勵館、光州)▼豚毛(朝鮮豚毛、京城)▼馬毛製品(朝鮮特產會社、京城)▼カーペイト(朝鮮カーペイト協會、京城)▼薄荷油(朝鮮薄荷、全南)▼蓄電器(朝鮮電氣工業組合、釜山)▼人造眞珠(忠北人造眞珠、清州)▼貝釦(濟州島貝釦、濟州島)▼琺瑯鐵器(朝鮮琺瑯工業組合、釜山)▼アイロン▼フライパン(山本重雄、釜山)▼陶製陶器(日本硬質、釜山)▼ゴム製品(朝鮮ゴム工聯、京城)▼絨通、ラクラク織(朝鮮物產、馬山)▼螺鈿漆器、木工細工(朝鮮工藝協會)▼ラワンベニヤ板(朝鮮木材)▼竹皮細工(潭陽産組)▼ハイナシン(田岐、釜山)▼醫藥(信利製藥、慈善製藥、柳韓貿易、李漢相、以上京城)▼編製品、人絹織物、メリヤス類(朝鮮織物協會、京城)▼脂肪酸、硬化油、フイッシュミール(協同油脂)▼映畫『新興朝鮮』四卷、『朝鮮ニュース』二卷▼寫眞、畫帖、觀光其他

産業戰士に"山の道場"
狙ふは三鳥、咸州郡の新試み

【咸興電話】山の靈氣にふれながら心身を鍛錬すると共に森林の保護と燃料增產を圖らうと新しい試みを咸州郡ですゝめてゐる――これは郡內の工場などで働く青年勞務者を對象とするもので、明年度から郡內の山林中に六ケ所の宿舍場を設け所謂工場で働く人達に解放、宿泊者は期間中造林の手入れや枯立する雜木の伐採、あるひは炭燒きなどと簡單な勞働をなしつゝ體位向上を圖らうといふもので、まさに臨戰態勢下の働く人々へ一石三鳥の厚生施設として是が非でも實現させようと郡では鋭意具體計畫を進めてゐる

多島海の"ベタ金"
地元有志が買收、新會社設立

【木浦電話】朝鮮理研會社は昨年來いろ／＼の事情で事業の縮小を見、無盡藏といはれた全南押海島の砂金採掘事業も中止、木浦の森誠一氏はじめ地元有志が四十五萬圓で同礦區を買收し國策的產金會社を設立すべく總て理研會社側と鋭意交渉中であつたが一日圓滿解決と共に双方契約設立を見たので森誠一、望吾、內谷萬平、森田省造、岡村又次郎、金容鎬、森酒井、藤田林平の諸氏は株式組織で本格的事業を開始することになり、來る十五日創立總會を開く段取となつた、尙新會社には既に五十萬圓の半額拂込みを終へてゐる

採める遊興飲食税
お酒、一品料理の課税は違反
新義州經警から疑義

【新義州電話】戰時體制の強化と價格等統制の強化と價格等統制令違反に抵觸し檢擧嚴罰されるといふので大きな問題となつてゐる

卽ち去る十五年二月卅一日朝鮮遊興飲食稅令が發布されて以來、新義州は勿論全鮮では同施行規則第三條によつて料理屋に出入するお客からはその遊興飲食に相當する代金全額の百分の十五を徵收したが、そのうち酒一本の公定價格たる三十五錢乃至四十五錢のうちにはこの稅金が含まれてゐると見てもよい條文が發見され、また一皿一圓以內の一品料理、九十錢以內の燒酎、七十錢以內の丼物その他の限界價格を有する飲食物は遊興飲食稅がその價格內に含まれてゐるといふ解釋を下したのである、從つてお酒の場合は四十錢の價格のうちから販賣者が稅金を納め、あとの飲食物の場合は限界價格範圍內はこれも販賣者負擔で、いづれも徵收するときは違反になるといふので

口の營業を押へるため料理屋、飲食店方面の客からは必らず一定の稅を徵收してゐるが、この稅さる業者のちよつとした課稅行爲から同稅の徵收課稅における疑義を新義州署市瀨經濟主任が發見、目下道警察部と協議、再檢討を續けてゐる、その疑義とは現在どこの料理屋、飲食店方面でもしかも全鮮的に稅金を徵收してゐるお酒と限界價格による一品飲食物は公定價格乃至限界價格のうちに

稅金　が含まれてをり從つて消費者がそれ以上の稅金を拂ふ必要がないといふもので、若しこれが正當だとすれば一年有半に亘つて遊興飲食稅を消費者から徵收した料理屋、飲食店業者は悉く價格等統制令違反に抵觸し檢擧嚴罰されるといふので大きな問題となつてゐる

これを違反とする關係法規は十五年七月十二日附殖產局長から通知事の通牒文に

朝鮮　遊興飲食稅令の改正本告示は朝鮮物品稅令に伴ひ價格等統制令第七條の規定により指定期日に於る額に新規課稅分又は增徵分を加算して公定價格を設定したるものなるをもつて本告示に從來して(中略)本告示に認めらるる以上の價格の引上げをなす等のことなきを深し進し云々

とあり、お酒一本四十錢に稅金六錢を加へ四十六錢をもらふことは不當引上げとなしてゐる、この問題については道經濟課が愼重研究を遂げた上、總督府に照會することゝなつたが、新義州署では早くも府內の業者にこの旨を通達、檢擧するやも知れぬとの警告を發した

"合計三圓以上に課稅"
稅務課の辯

總督府稅務課寺山事務官は右の問題につき次のやうに稅務課の態度を明かにした

『朝鮮飲食稅令といふのは一回の遊興、飲食が合計三圓を超過する場合に、その合計金額に對して一割五分の稅を課するといふのであつて、決して酒一本、料理一品に課稅してゐるものではない、だから若し新義州府內でお客や料理の一つ／＼に課稅してお客から餘分の金をうけとつてゐたとしたなら、それは明かな稅の違反になるが、左樣な料金の請求方法は餘り聞いたことがない、また殖產局長の通牒文のあの條は酒一本や料理一品について課稅するやうなことがあつてはいけないと警告的に附加してゐるのであつて、新義州署の市瀨主任がこれをどんな工合に解釋してゐるものか甚だ連絡を得てからでないと判らないとにかく飲食稅といふものは合計三圓以上の遊興、飲食に金に課せられるものであつて、酒、料理の一つ／＼に課するものではない』

忌明獻金
總督府企畫部第二課長渡邊冉郎氏は六日愛兒の忌明に際して軍人援護會朝鮮本部へ五百圓を寄附した

獻金
總督府勞務課の斡旋で本年八月咸南利原郡原山に移動した全南勞安郡の勤勞報國隊本隊の男石ほか六十二名は最初に貰つた賃銀のうちから廿錢乃至一圓を醵出計十四圓六十錢をこのほど鐵山事務所を通じて國防獻金した

急特題話

☆……京城のあまり名譽にならない名物チンピラの擴行に心を痛めた京畿道では仁川沖舌仙島を買收してチンピラを集めて指仙學園を設立し、氏より育ちといふから教導でも指導如何によつては立派な生產戰士になるだらうと各方面の醵財を以て開園すべく準備を急ぎつゝあるが

☆……チンピラ横行に惱んでゐる篤志家の寄附もどし／＼集つてをり、近く京城からチンピラの姿が消えることになつてゐる

☆……然しこれ等のチンピラはどこでどう感ずるのか危險(?)を逸早く察得するらしく京城の巷から忽ち姿を消し、ほとぼりの冷めた頃のこ／＼現はれるので今から彼等を殲滅する方法に頭を惱ましてゐる

〜けふの天氣〜
京城地方　晴れ時々曇り
仁川地方　西の風大體は晴れだが遲くなると一時曇る

京城版

慰問袋を贈る 淑明女子專門學校生徒代表約二十名は七日府兵事係を訪れ慰問用品など、バザーでの收益金で購入した慰問袋卅一個の献納手續をとつた

新版馬と志願兵の佳話

我こその未來蹄鐵戰士

再度奉公の決意固く

郷土の三君晴の養成所入り

半島の寶、特別志願兵の再度御奉公に賞讃の聲―軍馬の大切な爪を保護する裝蹄業（馬蹄を作る仕事）がまだ朝鮮には餘り多くなく、そのために馬兀增産の上にも影響があることなので典農町京城農業學校では九月二十九日附で同校に裝蹄養成所を開設して毎年こゝから二十名の裝蹄手を農村に送つて斯業の發展を圖り同時に馬兀改良や增産のために一期を畫さうといふことになつた、さつそく各道に生徒の推薦方を依頼した結果、漸くこのほどになつて十二名の優秀な青年が各道知事の推薦狀と共に同校に到着、中に加つてゐたのが除隊した金光武止（二〇）直木武男（二〇）松本安止（二〇）の三特別志願兵で再度御奉公の意氣に燃えて頼もしくも故郷を後に入校して來たのだ、三志願兵とも流石に知事の推薦によつて再度御奉公にやつて來ただけに見るから半島青年の模範として辱しからぬ立派な青年達であり、三君共今回の入校に際しては軍隊生活の延長としての喜びに浸るため進んで入校したものであるといふ、三君を訪へば異口同音に氣持のよい軍隊用語で語る

自分達は除隊してからしばらく郷里で農事に從事してをりましたが、朝鮮民衆をもつと馬に親しませるにはまづ愛馬心から養成するにあると思ひまして馬の最も大切な蹄鐵業を習得してこの仕事を通して馬への關心を深めさせるのが一番よいと考へました、私達三人共生れは別々ですが、こゝでは兄弟よりも親しく助けあつて立派な蹄鐵手となりこれを郷里への土産として朝鮮には少い蹄鐵業を普及して行きたいと思ひます

なほ金光君は江原道平康、直木君は全北全州、松本君は忠北清州郡の各々出身者で三君共訓練所第三期後期生、入營後金光、直木の兩君は本年七月除隊、松本君は六月に除隊各々郷里に在つたものである【寫眞＝右から金光、直木、松本の各除隊志願兵】

芋掘り慰安

援護授産所で

晴國の遺兒を背にした若い母を先頭に八日午前九時から典農町京城農業學校實習畑で軍人援護授産所員七十五名が高本主事に引率されて樂しい芋掘に終日を暮したが、農校でもすでに芋掘申込みを締切つてゐた後であつたが特に軍人遺家族の爲に生徒の教材用として殘してあつた芋畑を開放して心ゆくまで遺家族達の芋掘鍛錬に委せ同校野村校長まで飛び出して歡待につとめたので時ならぬ人情の華は咲いて同午後四時散會した

防訓打合會

十二日から開幕される綜合防空訓練を控へて工都永登浦では萬遺憾なきを期すべく八日午後一時半から府出張所會議室に警防團、特設防護團の役員を初め各町聯盟理事長、區長、指導員等三百餘名を招集、金井警察部長並に成田出張所長の挨拶後加藤永登浦防護主任の訓練實施要領につき講義説明があつて午後三時半閉會した

扶餘神宮へ勤勞奉仕隊

◇……徽文中學校では九日午前六時、同校長木山炳奎氏の外職員四名は全校生を代表とする勤勞奉仕隊四年生の中百名を引率して扶餘へ向ふ

◇……壽松町明星女學校でも月村校長先生外一名の職員は廿九日午前六時、全校生を代表とする勤勞奉仕隊四十名を引率して扶餘へ

仰げ尊し

座蒲團續る師弟愛

〝健全な第二世育成は先づ行儀作法から〟と鷺梁町德壽國民學校では尾野校長自ら五、六學級の修身科目を受け持つて同時間には道……先生だけは座蒲團……成績をおさめてゐるがこの學校の……心に感激した六年の女兒童は〝先生のお蔭様で立派な行儀を覺えました〟……とこのほど丹誠籠めて作つた座蒲團を差出した

老後を傷兵慰問

〝六十六歳の青年〟倉持さん來城

〝六十六歳の青年〟を自稱する慰問行脚の珍らしい老人が七日京城に現れました、別府市海岸通りにアパートを經營し商工會議所議員の肩書を持つ倉持正七郎（六六）さんがそれで帰還將兵感謝慰問行脚を志して一年、九州から北海道に至る内地陸軍病院の全部を遍歴し今度は半島に行脚の第一歩を印したもの、七日は總督さんに面接激勵を受けて同夜は廿二部隊で慰問講演を行ひ多大の感銘を與へたが、八日本社を訪れた倉持さんは國民服に腕章凛々しい姿で元氣に語る

內地の白衣勇士のゐられる病院は殆んど全部慰問行脚を終へましたので今度は半島を一巡するつもりです、えゝ、費用は勿論自費です、家業の方は息子に任せ切つてあるので安心して老後を慰問行脚に捧げる積りですが、ナーニ青年の氣持で張切つてゐますから、一人の慰問者になれるばかりに存分の働きが出來さうです

皆勞へ女子商業生起つ

傷痍軍人の慰問や出征軍人遺家族の花束慰問に銃後奉公の誠を盡してゐる京城女子商業學校では、これと共に皆勞運動にも乘出し週間行事として同校庭から慰霊泉電車終點に至るまでの二千米道路の清掃に取りかゝり一般から感謝の的となつてゐる

遺家族へ贈る眞心

愛婦林町分會で慰問の夕

聖戰下、銃後の秋に繰展げられた銃後奉公強化運動の最終日―林町愛婦分會では分會長小野トミさんを始め役員十六名が相談の上、愛婦としての最後のお勤めも兼ねて管內の出征軍人遺家族を慰めませうと八日午後七時から中等學院の講堂を借り慰問の夕を催した、定刻小野さんの挨拶があつてから舞踊に寸劇に既か役者の役員連が熱演して遺家族を喜ばせ、歸りには眞心籠めた『お土產』を贈つて感謝と感激が織りなす『樂しい夕』が終つたのは十時だつた、以下は出演者の奧さん連【寫眞＝慰問の夕】
蔚水、中村、波多、田邊、本名河野、旭、岡本、本田、細見、中村、中島、柳田、關、西

颯爽と可憐二模様

女實・南山幼稚園體鍊會

エイツオウ……裂帛の氣合と共に繰出す薙刀の穂先、サツと振り下ろす一文字の亂、體をひらいて敵を引きよせる滿心の亂、様々變化は満止、臨止の構へ……八日京城女子實業學校の全校生體鍊會の催し物に登場した正統薙刀の型、六百名の女生徒が凛々しくも白鉢巻に稽古薙刀を抱へての見事な訓練ぶりは銃後女性の意氣を型の上に示すものとして頼もしい

◇

今日は僕らの私たちの樂しい運動會―秋晴れの八日午前九時半から獎忠壇の芝生で南山公立幼稚園の運動會が開かれました、興亞の子たちは兵隊さんよ有難うや栗拾ひ等に勇敢敢闘しました、それを見守るお母さんやお姉さんも終始ニコニコ顔で秋の樂しい一日を過し午後四時過ぎごろ栗拾ひ競技で拾つた栗をお土產に和やかに散會しました

寫眞＝體鍊會二つ……（上）京城女實（下）南山幼稚園

こちらからも代表を

永登浦で商議所に陳情

永登浦では地方發展に伴ひ遲てから本年の改選期には是が非でも同地區から商議を選出しようと意氣込んでゐた矢先、議員選擧が推薦制に改められたのでこの際新興工業都市の實情を推薦委員に再認識して貰ふことが必要だとの輿論が起り八日午前十一時から驛前食堂旅館で金井道議、青木北部町會總代その他の各公職者を初め京城燃料小賣商組合永登浦支部、同飲食料品小賣商組合支組、酒類商業團にに旅館業、料理業、服裝雜貨小賣商砂糖配給統制、酒類合成酒小賣商、麥酒燒酎小賣商等各組合の役員多數集合し之が對策を打合せた結果、陳情委員を選定して九日委員が陳情書を持参、商工會議所當局並に推薦會へそれぞれ陳情することに決定、午後二時散會したが陳情委員は永登浦區會議長金井泰雄氏並に永登浦商業會議員……利美氏が選ばれた

大關町々會事務所擴張移轉

大關町會では事務所が狭隘で非常に困難を感じてゐたが、この程有志四十餘名の贊同で約二萬圓の寄附が集つたので、早速敦義町へ七十餘坪の二階建を購入したが、修理のため月末には移轉する豫定

廢品回收と道路清掃日

町會で申合せ

中學、壽松、光化門通町會では國民皆勞運動に資し總代金子忠重氏の考案により、町內家庭及食糧千餘名が一致共同精神を以つて八日を廢品回收と十日には附近道路の大修理と清掃を行ふことに區、班長會議で決定した

郷軍鷺梁津分會強行軍

鷺梁津郷軍分會では五日午前八時から京城商工學校々庭に長田分會長以下四十五名の會員集合の上、鷺梁津、安養間を行軍、途中試田山を中心に戰鬪行軍、號令、戰闘行軍等に郷軍の意氣を示して午後五時歸途に就いた

獻金の花束

七日府龍山出張所取扱獻金の第一束＝五圓青葉町一ノ一一六朝元照雄、五圓桃花町金光富榮、三十圓大島町五矢吹亭子、二十五圓弘德町一一ノ一四松山正夫外十名一圓五十錢桃花町一五二河東時鎬、銀紙一八〇瓦元町三ノ一〇一金中相優頂鎔養敦點賞光町二一二二吳德裕

十字路

◇……旭町といへば誰でも想像を不純な方へ向けたがる

◇……料理屋だ、何軒、藝妓屋が何軒と數へるだけでも謹嚴な人は卒倒するやうなことになるかも知れない

◇……ところがこの旭町こそ朝鮮最古の官舍街で裁判所の長官官舍もあれば本府の局長官舍もあり、その中にはさまれて判任官舍も相當にある

◇……そこで毎月一日の常會には上はお役人から下は藝者に至るまでおよそ油と水の人々が一ケ所に集つて宮城遙拜もやれば皇國臣民の誓詞も齊誦するのだが町の人々は少しもそれを不自然がらない

◇……つまり他の町の人々が心配するほどに旭町はみだれてゐないことを知つて貰ひたい…とは同町一丁目總代神崎さんの願ひである

ラヂオ　九日（水）

朝 六・二〇ニュース▲六・三〇（東）レコード▲六・四〇（東）『臣道實踐』中平政介▲七・〇〇（東）時報（城）宮城遙拜　▲七・〇一（城）ラジオ體操▲七・二〇（東）清代支那の動搖3、『日露戰役前後』鈴木俊▲八・三〇（城）氣象通報▲一〇・〇〇（東）オハナシ『ブタウノフサ』山口百代外▲一〇・二〇（東）秋の珍味『イナゴとキノコ』▲箇井政行外發表▲一〇・三〇（東）お話『金次郎と熊』前田直

晝 正午（東）時報（城）默禱外▲〇・〇五俚謠（金澤）1『七尾まだら』七尾市春風會2（福井）『三國節』三國節保存會▲〇・三〇ニュース▲一・〇〇（東）1物語『指揮刀』坂本積冠者2『不時の場合の赤ちゃんの注意』小林彰二・〇〇（東）『防空の話』並丸三郎▲二・二〇（城）氣象通報▲二・二五（京城第二）『讀書と眼の衞生』公炳禹▲二・五五（東）ラジオ體操▲三・二〇ニュース海上氣象▲三・五〇（東）職業紹介▲四・〇〇（城）『理數科理科中學年取扱の要點』久保田▲五・〇〇（東）1詩吟指導『後下學水』佐々木孝吉2箏曲『屋島』加藤柔子　六・〇〇（東）劇『一領本武島』吉原鏡夫外▲六・二〇（東）シンフブン▲六・二五ラジオメモ▲六

夜 ・三〇（東）話【めざめつゝある南方民族】板垣與一▲六・五〇（東）農家の時間▲六・五五公知事項、天氣見込▲七・〇〇（東）時報・ニュース▲七・二〇（城）『第二次綜合防空訓練實施に際して』三橋孝一郎▲七・四〇（城）話『食糧増産と國民皆勞』矢島杉造▲八・〇〇（東）軍事報道▲八・一〇（東）文化時評『タイ』大阪放送劇團▲八・五〇（東）落語『錦林』桂文治▲九・一〇（東）話『佛印の近況を觀て』横田實▲九・二〇ニュース（城）氣象通報・天氣見込▲一〇・〇〇（東）時報（城）今日のニュース

第二 午前七・〇〇宮城遙拜▲正午（東）時報（城）默禱外▲〇・〇五レコード▲六・〇〇（東）劇『榎本武揚』吉原鏡夫外▲六・二〇管絃樂京城放送管絃樂團▲六・四〇コドモの新聞▲六・四五『國民皆勞と婦人』永河仁德▲七・二〇國民綱力の時間（譯）三橋孝一郎▲七・四〇座談會『我等の職場を語る』毎日新報工場員▲八・〇〇（『勤勞青年の夕、新聞の卷』＝職場風景（錄音）▲八・二〇放送小說〝華麗な道〟卜惠淑▲八・五〇伽倻琴散調と併唱成錦蓮▲九・一五中等國語講座金周炳

歌はぬ勝利（24）

山中峯太郎【作】　高木清【畫】

挺身する人々（四）

湯殿の前にある洗面室へ、公子は、ベジャマのまゝで入つてきた、不斷のお母さまの消毒と、氣のきいてゐるおミツの手で、今朝もちやんと清潔に整つてゐるのが、とても氣もちよく、公子は、鏡の前にスックと立つて見た。

―さうまづい顔してないわね

自分の顔を映して見るたびに、いつも、かう思ふ。でも、今朝は少し目の上が、ふくらんでゐるやうだ。はれぼつたい感じもする。

―睡眠不足かしら、チエッ、そんな意くしなしちやないわ。

自分ひとりの負け惜みで、ちよつと笑つて見ると、頬つぺたの左にも右にも、いつものやうに、ゑくぼができた。もう一つ、左の目の横下にも、ゑくぼができた。變な所に、ゑくぼができて、複雜な笑顔になるのが、今朝も自分でをかしくて、いつもだと、こんな時クスリと笑つてみるのだけれど、

―お父さまは、どうなすつてるかしら。

胸の中にたまつてゐる、苦いかたまりが、急にひろがつてくる氣がして、複雜な笑顔が消えてしまつた。いやにむつかしい眞剣な顔になつて、公子は、棚の上から自分の青い歯ブラシをつまみあげた。

『お嬢さまで いらつしやいますか』

ドアのすぐ外から、ハキハキしてゐる聲はおミツである。

『えゝ、なあに』

『お早うございます。旦那様がお歸りあそばしましたの…』

『エッ』

歯ブラシを持つたまゝ、公子は振りかへる前に聲がさきに出て、

『ほんたう？…』

『はい、今朝お早くに』

おミツがドアを開けるなり晴れ晴れしてゐる顔をのぞかせながら

『奧様も、すつかり、ご安心でいらつしやいますわ』

『あたしも、お目にかゝつてくる』

いそいで棚の上の歯みがきへ、手を伸ばすと、

『お嬢さま、まだでございますのよ、奧さまが、さう仰しやいまして』

『何がまだなの、うん、さう？、おやすみなのね』

『いゝえ、お書齋の方でございますけれど』

『では、何がまだなの、早く云つてよ』

ブラシにつけたねり歯みがきをピタリと前歯にあてながら公子はそのまゝおミツを見すゑた。

『奧さまも、お書齋へは只今、お入りあそばさないのでございますから』

『さうか、何か お書きものなのね。よかつたわ。何時ごろお歸りになつたの』

『夜明けまへでございました。おトクさんが さきに氣が つきまして、御門をおたゝきになる音を、わたくしも聞いたのでございますけれど』

『さうお……』

はれぼつたい目のまはりが、急にジーンと熱くなつて來た、公子は、歯をみがきはじめると、

『お一人でお歸りになつたの、誰もついて來なかつたの』

『は、お一人で いらつしやいました』

『お車で』

『はい、何でもメイタクにお召しのやうでございました』

『さう、お母さまと何かお話しになつたこと』

『おミツ、おミツ……』

台所の方から禮子夫人の呼ぶ聲にも、明るさがこもつてゐて、

『居間の方のお掃除は、まだぢやないのかい』

『は、……』

チラッと笑つたきり、おミツはドアをしめてしまつた。

夕刊　京城日報
第一部定價金二錢
京城府太平通一丁目三十一番地　京城日報社

御結婚の御日取　來る廿二日と御決定
けふ告期の御儀行はせらる
三笠宮殿下

【東京電話】三笠宮殿下と高木百合子姫が厳かなる賢所大前において御結婚の御盛儀を擧げさせ給ふ晴れの期日は八日告期の御儀を行はせられ、いよいよ二週間後の佳辰廿二日と御決定あらせられた、この朝青山高樹町の高木子爵邸には養嗣子高木正順氏夫妻、坊城俊良夫妻、入江子夫妻、その他近親者が門内に整列し百合子姫はロトアモンタンの端麗な姿にて兩親の子爵夫妻とゝもに玄關にて御使を出迎へた、これよりさき青山東御殿にて三笠宮殿下の御旨を拜した晴れの御使十居三笠宮附事務官はフロックコートにて午前十時子爵邸着、やがて姫は高木子夫妻と揃つて正殿の座につけば、御使は厳かに「十月廿二日三笠宮殿下と高木百合子姫との御結婚の禮を行はせられる」旨を述べ、子爵は姫に代つて御旨を御うけ申上げ、こゝに御日取は正式に決定した、かくて御使十居事務官は青山東御殿に歸還、式終了の趣を殿下に申上げた

宮内省發表

【東京電話】三笠宮殿下と高木百合子姫との御婚儀御期日は八日左の如く宮内省告示をもつて發表された

宮内省告示第二十二號
十月廿二日崇仁親王殿下正四位勳四等子爵高木正得二女百合子と結婚の禮を行はせらる

なほ御婚儀當日の御次第は左の如く御決定あらせられた
廿二日午前九時賢所大前の儀、終つて皇靈殿神殿に謁するの儀
同日午後三時參内　天皇、皇后兩陛下に朝見の儀、同日午後四時皇太后陛下に朝見の儀

二千四百廿一萬石
本年朝鮮米第一回收穫豫想高
前年に比し一割二分五厘增
總督府發表

朝鮮米の第一回豫想收穫高は八日午前十一時總督府農林局から次の如く二千四百廿一萬五百六十二石といふ豐作豫想が發表され帝國の食糧國策に重大貢獻を齎すものとして期待さるるに至つた

農林局八日午前十一時發表

本年は早春以來全鮮的に相當の降雨ありたる結果播種順調に行はれ特に移植は用水に惠まれたると増米計畫達成に對する官民一致の熱誠なる努力とにより未曾有の進捗を示し七月十日現在において殆ど完了するを得たり、而してその後における天候は時に低温寡照を呈しなほ所々に風水害等ありたるも總じて稍良の狀況にありたり、その後八月下旬において一時氣溫の低下を來たし且一部に風水害を蒙り又局部的に稻熱病の發生を見たるも何れもその被害比較的輕少にして特に九月以降は適當なる氣溫に推移したるため終始低温寡照に禍されたる咸南北を除いては一般に生育順調に經過せり、今九月廿日現在調査の成績を見るに作付反別は水稻百六十三萬五千三百九十八町一反歩、陸稻一萬一千五百六十四町二反歩、合計百六十四萬六千九百六十二町三反歩にして豫想收穫高は水稻二千四百十二萬四千二百五十石、陸稻八萬六千三百十二石、合計二千四百二十一萬五百六十二石となれり、これを前年實收高に比すれば水稻二百七十一萬九千八百四十石（一割二分七厘）の增を見たるも陸稻において三萬六千六百七十一石（二割九分八厘）の減となり總計に於て二百六十八萬三千百六十九石（一割二分五厘）の增收を豫想され　なほ昭和十四年を除きたる最近五ヶ年の平均實收高に比すれば水稻百五十萬三千六百八十七石（六分六厘）の增陸稻十七萬一千五百八石（六割六分五厘）の減にして　總計に於て百卅三萬二千百七十九石（五分八厘）の增收を豫想さるるに至れり

道別米第一回豫想收穫高表

道別	作付反別 水稻（町）	陸稻（町）	計（町）	豫想收穫高 水稻（石）	陸稻（石）	計（石）
京畿道	一九五、一七一・四	五三〇・四	一九五、七〇一・八	三、〇六五、〇四二	五、〇六八	三、〇七〇、一一〇
忠清北道	六七、七八九・〇	二一七・三	六八、〇〇六・三	一、〇五八、六九九	一、六三七	一、〇六〇、三三六
忠清南道	一五九、九七八・六	五四二・〇	一六〇、五二〇・六	二、四四〇、九〇一	四、〇〇八	二、四四四、九〇九
全羅北道	一六五、三二四・四	五五六・八	一六五、八八一・二	二、六三一、五七四	四、〇八九	二、六三五、六六三
全羅南道	一九六、四二一・一	一、二三九・四	一九八、六五〇・五	二、九一三、一二五	一四、三八二	二、九二七、五〇七
慶尚北道	一八七、七九二・六	七四四・三	一八八、五三六・九	二、八一四、七八九	六、八〇二	二、八二一、五九一
慶尚南道	一六七、一〇九・〇	二、二八〇・七	一六九、三八九・七	二、五九二、〇〇八	一一、六〇七	二、六〇三、六一五
黄海道	一四七、五一二・四	一、六一九・九	一四九、一三二・三	二、二〇〇、三〇五	一四、五四一	二、二一四、八四六
平安南道	八〇、一八四・六	二、三二一・二	八二、五〇五・八	一、〇三四、一三三	二〇、八三〇	一、〇五四、九六三
平安北道	九四、四八一・四	二七一・三	九四、七五二・七	一、四六六、〇四五	一、六七六	一、四六七、七二一
江原道	八七、〇九〇・八	九七・六	八七、一八八・四	一、一〇六、九六七	五六二	一、一〇七、五二九
咸鏡南道	六七、四六八・二	一四三・三	六七、六一一・五	七五八、〇六九	一、一〇〇	七五九、一六九
咸鏡北道	一九、〇八四・六	—	一九、〇八四・六	六二、五八三	—	六二、五八三
合計	一、六三五、三九八・一	一一、五六四・二	一、六四六、九六二・三	二四、一二四、二五〇	八六、三一二	二四、二一〇、五六二

石田三成の眞價
平　貞藏

史上の人物の好き嫌ひは誰にもあるであらう。その人の素質、天分、年齢、境遇の如何によつて好き嫌ひは定まるものゝやうである。私には史上の英雄を論ずる資格はないが、私には私なりの好き嫌ひがある。少年時代には嫌ひであつたが、現在好きになつた人物も少くない。少年時代に好きであつて、現在嫌ひになつた人物は比較的少いやうに識ふ。少年時代から好きで、ますます好きになる人物に石田三成がある。「三百年、三成を惡人、小人としようとする努力が續けられたわけであるが、三百年間の曲筆を以てしても三成の眞價を歸つけることは出來ない。

三成が處刑される日、洛中を引廻される途中で湯を求めたところが、警固の者は「湯は求めがたいからこゝにある干柿をたべよ」と言つたのに對し「それは痰の毒だからたべまい」と答へた話は有名である。警固の者は「すぐに首を刎られる者の言葉は『をかしい』と笑つた。「おれ程の者が何とかして本意を遂しようと思ふからだ」と三成は答へてゐる。

◇　◇

七條河原でいよいよ首を刎られる時、七條道場の上人が「最後の經を誦して安心を得られよ」とすゝめたのに對して「いらぬ」と答へた。「さても頑固な、最後の念佛を誦へて地獄には墮ちぬやうせられよ」と上人が重ねて勸めると「おれほどの者が地獄に墮ちる苦があるか」といつて、そのまゝ神色自若として死についた。

これは一體吾々凡人に眞似の出來ることであらうか。「おれほどの者が」といへる人がはたして何人あるであらうか。これだけの信念があるから最期まで命を粗末にしなかつたのである。

多年、私は三成の評傳を書きたいと望んで來た。しかし僕の才幹、思慮、信念について語る資格ありや、と自問自答して見ると筆をとる力がなくなる。「おれほどの者が」と毅然としていひはなつことの出來るやうになるまでは三成について論ずるを差控へなければならぬ。

◇　◇

ひたむきに精進した若い時宗と、動ぜざる信念に徹した三成と、私の回想することの繁りない一つである。

史上の英雄は二人である。時宗と三成と人物を無ふ、と昔から人はいふ。時局はまさに非常時である。人々ははたして誰を想ふであらうか。三十四で卒した時宗と四十一で刑死した三成と現代の青年はそのいづれをもとるか、いづれをもとらざるか。彼等を吾々の及ばざるところにある人と見るか、或は彼等以上のことをなさんとする氣魄を有するか。それよりもまづ、現在を元寇襲來當時と比較して如何に觀ずるか、關ヶ原の決戰に現代的規模と性格を與へるとすればどうなると思ふか。天下の青年諸子に問はんとするものゝ一つである。

輸移出可能七百萬石
供出多寡は雜穀如何

朝鮮における十六年度米の第一回收穫豫想高は二千四百廿一萬石と豐作豫想が發表され、帝國の食糧政策を確固たらしめるに至つた、即ち朝鮮における米穀消費は先づ一千七百萬石程度と見られるので總消費量は之を差引した七百萬石は輸移出可能數量と見て差支へないわけである、然しながら鮮内の雜穀不足は四百萬石を控除した三百萬石となり　三百萬石は無條件で内地へ移出出來得る米穀となるわけである、而して内地へ對して七百萬石の米穀を供出するためには如何にしても四百萬石の雜穀を内地及び滿洲から確保せなければならぬので鮮米の供出多寡は一に雜穀移入にかゝつてゐるわけで近く入城の三浦農林次官の渡鮮による食糧交流打合せに期待するところ大であり、本年は滿洲國の雜穀も豐作と傳へられるので内外の糧交流は圓滑にゆくものとして期待される、右につき湯村農林局長は次の如く語る

まだく數字的には申上げられぬが米は豐作であるから相當量内地へ移出出來ると思つて喜んでゐる、しかし朝鮮の雜穀は可成り悪く殊に特殊な需要も增加してゐるので朝鮮の雜穀は可なり少いものになる、だからこれだけの增産であつても内地や滿洲から相當量の雜穀を朝鮮へ入れて貰はねば内地の期待する米は出し得ないこととなるので朝鮮への雜穀供給に全力を傾けてくれて、もつて朝鮮の米を出來るだけ多く内地へ出せるやうに内外地滿洲各方面の人が協力してほしいと思つてゐる

獨軍の主力三百萬
モスコーへ猛進態勢

【ニューヨーク七日同盟】ヒトラー總統が言明したドイツ軍の大攻勢は既然中部戰線における大規模作戰として現はれつゝあり、ドイツ軍はこの作戰によつて本格的な冬季に入るに先立ち現在もつとも立遅れを示してゐる中部戰線で一大中央突破作戰を試みモスコーを衝くとともに赤軍に最後の殲滅的致命傷を與へんと企圖してゐるものと見られる、ドイツ軍の右大作戰につきニューヨークに集まつた情報を綜合すれば次の通り

一、北はイルメン湖南方ヴアルダイ丘陵地帶から南はスモレンスク、ブリアンスクのほぼ中央ロスラヴルに至る約六百キロにわたる地帶において兵力三百萬、飛行機五千乃至三千、戰車五千を動員、獨ソ開戰以來最大規模の行動に出ると推察される

一、ドイツ軍攻撃の主力はこの線の南北兩端に置かれてゐるものゝ如く、フォン・ボック將軍麾下の突出部隊の攻撃は特に猛烈で、すでに相當の前進を示し、目下ヴイヤージマ附近で激戰展開中といはれる、しかしてこの方面に至るチモシェンコ元帥麾下の赤軍が最近ハリコフの危機を救はんと同方面に相當の兵力を割いたことも手傳つて早くも全面的崩壊さへ一部に傳へられてゐる

一、これと呼應するフォン・レープ將軍麾下のドイツ軍は北部において猛烈な攻撃前進を開始、ソ聯側でもこの方面のドイツ軍一部突出を認めてゐる、一報道ではドイツの突破部隊がすでにモスコーを距る北西百六十キロのカリーニンに迫つたともいはれるが、これは確報ではない

一、ドイツ軍は前記中央突破作戰のために他の戰線から相當兵力をこの方面に集結したと傳へられ、なかんづくレニングラードに對する攻撃はこゝ一兩日目立つて緩慢となり、この戰ではかへつて赤軍の獨斷反撃前進が傳へられる

一、クリミヤ方面でもドイツ軍の進出が傳へられアゾフ海に臨むマリウポリ、オシペング（ベルヂャンスクの新名）がドイツ軍の手中に歸した模樣である

一、クリミヤの危機が迫るとともに黒海におけるドイツ海上部隊の活躍が注目されてゐるが、特に最近ブルガリヤのヴアルナ、ブルガス兩港を中心とするドイツ水上部隊の動きが顯著となりこの兩港に集結されたドイツ艦艇は十四萬トン、また海軍將兵四千その他技術員二千が待機中と傳へられる

スターリン逃避
獨軍、カリニン、オレルを確保

【ベルリン七日同盟】ヒトラー總統が二日の演説で四十八時間以内に現はれるであらうと豫言した大作戰がいづれの方面に展開してゐるかは非常な興味をもつて見られてゐるが、各方面の情報を綜合するとハリコフおよびモスコーを中心として開戰以來最大の戰鬪が行はれてゐる模樣である、獨側では之に關してまだ積極的な發言を避けてゐるがソ聯筋の情報ではドイツの北部方面軍はモスコー、レニングラード鐵道の要地カリニン附近を占領、中部軍はモスコー、ハリコフの中間にあるオレルを占領したと傳へられてゐる

赤軍はモスコー、スモレンスク間の正面陣地には最精鋭の大軍を配置して防禦してゐるので獨軍は最初正面からの攻撃を避ける方針であつたが、獨軍が占領した位置にあり、殊にカリニンはモスコーから僅か百八十キロの近距離にあるからモスコー方面守備の大軍に對する大包圍陣は次第に完成しつゝありと判斷出來る、モスコーの包圍戰に成功しレニングラードが陷落すれば赤軍はほとんど全兵力を失ひ總統の指摘する通り再起不可能になるだらう

獨軍當局の非公式發表によると今までの戰鬪で最大の戰果をあげたキエフ東方の包圍戰における捕虜は六日までの計算ですでに百萬に達したといはれるが今回の包圍戰はこれよりもさらに一段と大規模のものと傳へられるから、この包圍戰に成功すれば文字通り有史以來最大の戰果となり戰線の一段落を促進することゝならう、なほエクスチエンヂ・テレグラフ通信のモスコー電によるとスターリン首相はすでにモスコーを逃避したと傳へられるが、これはその内容の正否を問はずいづれにしてもモスコーの危機切迫の空氣を反映したものとして注目されよう、一方ハリコフ附近の包圍戰も極めて大規模なものであり、レニングラードの陷落も時間の問題だからレニングラード、モスコー、ロストフの線確保の當面の作戰目標は冬季に入る前に大體達成されるものと見られるに至つた

芬あつさり蹴る
英の即時停戰通達

【ロンドン七日同盟】英政府は去月廿二日フインランド政府に對しフインランドの即時停戰を慫慂する覺書を通達したがフインランド政府は七日これを拒否した、一部では右の結果イギリスは對フインランド宣戰の擧に出るのではないかとも見てゐる

ア元帥の罷免說を否定
羅公使館聲明

【東京電話】ルーマニヤ軍總指揮官アントネスコ元帥の罷免說に關し在京ルーマニヤ公使館では右報道を否定、七日左の如き抗議的聲明を發表した

アントネスコ元帥罷免の報道はイスタンブールからの報道であるがこれによるとアントネスコ元帥はドイツ軍の作戰に不滿を抱き、またルーマニヤはフインランドとゝもに舊領地以外の地域においてソ聯軍と戰ふことを欲せざるものなりといつてゐるが右報道は全く虚構で、アントネスコ將軍は四、五兩日前線に視察したとの確報があつた、對ソ戰線においてルーマニヤは終始ドイツ軍と協調し最後の勝利に向つて邁進するものである、ベッサラビヤの奪還を確保し堵に安んぜんとすれば共産主義國家を近隣から除かねばならないことをルーマニヤは確信してゐるが故にかかる風説は斷じてあり得ない

捕虜交換利用
卑劣な反獨宣傳
ドイツ當局、英を論駁

【ベルリン七日同盟】獨英重傷捕虜交換無期延期につきドイツ外務當局は左の如く說明した

重傷捕虜交換交渉はアメリカを通じ外交手段によつて行はれいよく實行の運びになつてゐたが、イギリス側は卑劣にも、この機會を捉へ、突然ラジオ新聞による反獨宣傳を開始し、ドイツ國内には反戰和平の氣運が醞釀しつゝあり、ドイツ政府はその動きに押されイギリスと交渉を開始したものであると全世界に虚偽の宣傳を流布するに至つた、かくイギリス側が意識的に捕虜交換を妨害したゝめこの技術的かつ人道的な捕虜交換交渉は頓挫したが、ドイツとしてはイギリスがアメリカを通じ公式に交渉決裂の通告を行はぬ以上今後も外交機關を通じ折衝を續けるつもりである

獨の協定違反
マ英陸相誣ふ

【ロンドン七日同盟】マーゲッソン陸相は七日英下院において獨英捕虜交換中止に至つた經緯につき左の如く說明した

獨、英捕虜交換計畫は獨側が最初の諒解事項により頓挫するに至りニューヘヴン港で病院船に乘船してゐた獨軍捕虜は下船のうへ再び病院および收容所に復歸せしめた、ドイツは最初英側の獨軍病傷捕虜約百五十名送還に對し獨側の英軍捕虜千二百名を送還することに同意しながら後になつて捕虜數の限定交換を提議し來つた、これは明かに協定違反である、獨政府が最後の時に至つて協定を完全に無視することが明白になつたため、英政府は英病院船が獨側背信行爲の犠牲となることを恐れ出港を中止せしめるの已むなきに至つた

蠢動の八個師潰走
傷し敵の宜昌奪還企圖

【漢口七日同盟】宜昌奪還を狙ひ蠢動せる第五、第六兩戰區第二、第卅二、第七十五、第十三、第卅七、第卅八、第百八十、新編第五十一の合計八師は小癪にも蠢動を試みつゝあつたが、これに對しわが方の宇野、會田、鈴木、吉瀬、柳野、梶浦などの諸部隊は二日朝電撃的に行動を開始し大打撃を與へ敵を南方に潰走せしめた、七日正午までの戰果左の通り敵遺棄死體一千五百十六、捕虜二百廿六、鹵獲品各種兵器彈藥多數

ウ洪國公使招待午餐會
軍司令官主催

板垣朝鮮軍司令官は入城中の駐滿公使に親任の駐日洪國公使ニコラス・デ・ウエーグ氏を八日午前十一時半官邸に招じ正午から、招待午餐會を開催した

午餐會に先立ち東應接間で諏訪外事部長小田通譯官を交へ板垣將軍とウエーグ公使は朝鮮の事情から半島、滿洲の印象などにつき歡談正午のサイレンとゝもに同公使は板垣將軍と並んで聖軍將兵武運長久、英靈感謝の默禱を捧げ、ついで加藤軍參謀長、朝生高級副官、葛谷利田、畠山兩少佐、阿野田大尉ら多數列席午餐に移つた

板垣將軍まづ親しく、公使の來鮮を祝して挨拶をのべ、公使また將軍の溫情を謝し、ゆるぎなき皇軍の威武を頌讃して乾杯、歡をつくして同一時半すぎ散會した【寫眞＝應接間におけるウ公使（右）と板垣軍司令官（左）】

文部省課長級異動

【東京電話】文部省では缺員中の實業學務局農業教育課長の後任補充に伴ふ人事異動を八日左の如く發令したが、社會教育局成人教育課長兼映畫課長には千葉縣學務部長里見富次氏が起用された

千葉縣書記官（學務）　里見富次
任文部書記官（三）命社會教育局成人教育課長兼映畫課長
文部書記官（社會教育局青年教育課長）　高瀬五郎
命實業學務局農業教育課長
文部書記官（社會教育局成人教育課長兼映畫課長）　久尾啓一
命社會教育局青年教育課長

内務部長級異動

【東京電話】内務省では里見千葉縣學務部長の文部省轉出に伴ふ地方部長級異動を八日左の如く發令した

高知縣經濟部長　菅野一郎
任千葉縣學務部長（三等）
兼地方事務官（福岡）都市計畫地方委員會事務官　河野義信
任青森縣經濟部長（四等）
佐賀縣經濟部長　川崎勇
任高知縣經濟部長（三等）
青森縣學務部長　中野四郎
任佐賀縣經濟部長（三等）

人

◇足立長三氏（滿鐵營業局長）八日入城、朝鮮ホテル
◇ニコラス・デ・ウエーグ氏（ハンガリー公使）八日「あかつき」にて退城
◇山下三治郎氏（商銀南大門支店支配人）就任挨拶のため八日本社來訪

時の錄音

三笠宮殿下と高木百合子姫の御婚儀晴れの期日は二十二日と御決定、竹の園生の彌榮え、御目出度き極みである。

×

本年度鮮米の第一回收穫豫想二千四百二十一萬石。案外少くもあるが、とにかくこの增收は心強い。

×

奬勵金や買上米の値上げで農村は懐も潤ふが、これを浪費するな。

×

總督府のこの親心は增産と貯蓄に一路邁進せよとの敎へと知るべし。

×

一般父このの豐作に心を弛めて白い飯が食へるなどと安心しては折角の增收が增收でなくなる。

×

豐年祝の酒盛りで取りあげられる。年に一度の收穫を心から祝ふ日があつてよし。

火を吐く必中彈
我に此の精兵 10
陸軍步兵學校（中）

キリ・キリ・キリ……銃輪の操作は火花が散る瞬間にも似て分秒と細繊が將兵の手先で極めて正確に潤滑され早くも試射の一彈は敵陣に見舞はれ、鋭い炸裂音に敵兵が散る、敵陣三百、二百の近距離に迫つて連續的に吐きつける必中彈は分隊砲決死の操彈高手だ、双頬には熱い汗の玉が、緊張し切つた顏に溢り上る、血管が決死の決意をひらめかしてゐる、後續步兵部隊の突擊を最大限に効果させる死鬪、敵勢いかに頑強に火を吐いて抗戰し壯烈凄慘として両手の双手を築むとも聖戰完遂すんば一歩も退かじ、烈々たる將兵の意氣、思ひは新戰場へ馳る―旋裝術の秋草が涸しい武人の鑑らにも見え、爽氣がそよぐ―

文化

臨戰映畫談義（下）

高島金次

田中稲城畫 田中抱州氏筆

次に今度作れる映畫製作機構は當局の意思が相當強く盛られることは想像に難くないし、又當然のことである。然しその經營主體と製作部門の製作態度、製作意慾とは兩立しない場合が多い。內地映畫界の巨人が昨日までの古巣を奪ひ去り、又は三人五人と束になつた離合集散の事實を見ると、經營者と製作者の理想の上に割切れぬ個々のものが潜在する事實が判るのである。

×

私は半島における新臨制映畫機構の下にあつて、私利私慾や一個人の名譽や自己滿足のために映畫人たるの信念に背くが如き同志が現れることは豫想もしないが、お互に自ら顧みて悔なきを期すべきであると思ふ。

×

新機構に對し希望することは、その運營と製作計畫を審議する「企畫審議會」（假稱）を設けることである。この機關は總督府當局、軍部から報道部長、文書課長、社會教育課長、國民總力聯盟の宣傳部長、文化部長、國民總力聯盟の宣傳部長、文化部長、朝鮮軍司令部當局、その他半島の文化人と經營者側の代表者から組織する。この機關は新會社の製作計畫の內容を審議するが、一方又新會社の運營についても檢討し、官民一體となつて映畫による臨戰態勢の徹底に資するといふ建前のものであると思ふ。

×

新しく設立される映畫製作會社は、それが株式組織であらうと、經營的な経營は許されぬ。資材の關係、作品の配給、その他種々の點から考へれば、所謂官民一致の存在でなければならず、換言すれば半官半民の機關としての色彩を呈するに至るであらうと想像される理由が多い。當局の映畫政策の積極化が此處まで來て、その製作方針が企畫審議會といつた樣な機關で決定し、完備した設備と半島獨自の陣容で製作された場合、その作品は過去の如く狹い市場で呻吟することなく、全日本の市場への進出が約束されてゐる。

×

然し臨戰映畫に就て一言し度いことは、內地においても映畫の臨戰態勢實施と同時に、官廳映畫は出來得る限り自己滿足に陷り易い弊風を是正することになつた。官廳映畫は製作の企畫から完成まで、又完成以後のその映畫の配給に關して、製作者に不安がないやう映畫の狙ひ處、ピントが何時の場合でも一樣に大衆をはづれてゐる。官廳がふくれると聽衆を悩ます

「すき焼程度で作つたものが見ごたへがある」朝鮮においても官廳映畫の出來はお叱りを受けるか知れぬが感心しない。これはやはり製作意圖と機構の問題だと思ふ。今日の場合、重點主義から申しても當然官廳映畫は廢止すべきであり官廳映畫といふ名稱すら感心出來ない。官が民を指導する以上、現在吾々が製作せんとする臨戰的映畫こそ、換言すれば官廳映畫の大衆化であり、映畫を通しての上意下達の役目も引受けてゐるのである。

×

當局の內意にもとづき、新製作機關の創立に關する計畫案は既に提出濟である。近く具體的方策につき明確なる當局案が發表されると思ふ。私は警務局本多圖書課長の叮嚀懇切な臨戰映畫の將來に關する添附した御意見や、倉原文書課長の明確なる贊助の御意志を継とし、躍進半島の經濟力を締とし、將來の半島映畫に燃ゆる情熱を傾けるものである。又この新機構の經濟的中心となる人材も、何れ近くクローズアップするであらうし、この人選又當局の方針による譯だが、私は日本映畫を今日のレベルまで引上げた幾多經營者の面影を偲びつ、我々の中心人物は「經濟人であると共に文化を解する」ことを絕對條件とし纖細なる頭腦よりも、鄭臨日清戰役併せ呑む雅量のある傑出した人物を要望し度い。百萬や二百萬の會社と經營する勿れ。然も半島唯一の映畫事業はそこらにある千萬や二千萬の利潤追求を業とする會社とはその精神と前途を異にする。

最後に私は臨戰映畫體制に關する當局の正式案を期待しつ、擱筆する。

明滅燈

豆債券と音樂

私は自分が音樂に關係しているといふ立場から、是非一度實現したいと思つてゐることがある。それは外でもない。音樂會を開いて入場料の代りに豆債券を持つて來いといふ案である。豆債券なら煙草屋にでも賣つてゐて、容易に手に入るから、魅力ある音樂會にこの豆債券を入場料に代へるといふやうな催を開いたら、債券と民衆との關係を近しいものにするだらうし、從つて音樂報國といふことも生きて來ると思ふ【朝鮮映畫株式會社總務部長鈴木貫一郎】

十六歲の半島少女が聯盟小說に入選

『愛國子供隊』の李貞來さん

國民總力朝鮮聯盟文化部で懸賞募集中であつた文化懸賞小說は、その審査の結果が七日發表されたが當選の一等（一名）二等（一名）三等（二名）の外に、特別獎勵賞として『愛國子供隊』の一篇を推奬された全南高興郡高興面玉下里の李貞來さんが、昨年十月の小學校の高等科を出たばかりの當年十六歲の少女であることは審査關係者を驚かしてゐる、即ち一田舍の少女が周圍の愛國的な樣相を素朴な目で見、心で感じたまゝを綴つたもので、小說としての形式には遠いが、たくましい意慾を示したものとして特に特別獎勵賞が授與されるに至つたもので、半島における鬪出止子として脚光を浴びる日も近いであらう、なほ各審査委員の審査所感を次ぎに揭げる

寺田瑛

率直にいふと應募作品には大部分が取れるだらうと思つてゐたが、僅か纏まつた優れた作品が期待した程でなかつたことは殘念である。あまりに素人臭に過ぎた憾みがある。また『總力精神を發揮する』といふことを文字通りに解釋して、その根本理念に徹しきれなかつた氣味のあるのも殘念である。然し一等の『夢は覺めるもの』は、中で最もすぐれてゐた。特殊の職域にあつて時局と向き合つてゐる作者の氣持ちは素直だつた。二等以下は多少作りごとの感がなくもないが、特別獎勵賞の『愛國子供隊』を掘り出したのは拾ひものだつた。

兪鎮午

豫選を通過して私の手許へ廻されたのは十二篇だつたが、全體として內容が非常に貧弱だつたのは淋しかつた。小說は何よりも先づ小說でなければならぬ。ところが今回の應募作品は殆んど凡てが大衆小說の筋書か、でなければ生硬い理論の羅列だつた。それだけに『夢は覺めるもの』は今度の收穫であつたといへる。「夢は覺めるもの」も大した傑作とは思はないが、取材が職業道徳といふ從來あまり取上げられなかつた方面であるばかりでなく落付いた淡々たる筆致が實感を以て讀者に迫る、終りの場面の大衆性は避け難いものであるばかりか、むしろ省められていいものであらう。

實は私は『愛國子供隊』にも感心したが、これは小說とはやはりいへないものと思ふ。それは兎も角として、この作品の筆者のやうな天才少女を見出したことはやはり今度の懸賞の一つの收穫だつた。

毒茸の鑑別法

美しくこはれ易く乳汁を出すのは危い

食品不足の今日、一方では山野に自生してゐる植物の食用化なども盛んに叫ばれてゐますが、これが類ひして毒茸による中毒のやうなものが今年は殖えるのではないかと思はれます。で、さうした見逃げた目に遭はぬやう誰でも毒茸の鑑別法を知つて置きませう。毒茸の特徴としては普通次のやうなことが擧げられてゐます

（一）壞れ易いこと
（二）外觀が綺麗なこと
（三）折つた時液汁を出す、もつとも食用になる茸にも初茸のやうに液汁を出すものがあるが、毒茸の液は乳白色である（チ、タケは例外）しかし食用茸の液は赤色である、また液の色が空氣に觸れた場合直ちに變化する
（四）惡臭を持つてゐること
（五）莖にツボを持つてゐること

このほかアメリカでは銀の匙のやうな銀器の傍へ茸を持つて行つて若し銀の色が變つたらその茸は有毒だとされてゐますが、全部が全部こんな工合だとはいはれません、中にはかうした條件を備へてゐなくても有毒なものもあるし、右の條件を半分くらゐ持つてゐても食用になるものもあります、しかし萬一の場合を考へて、このやうな茸は絕對に口にしないことです

毒茸の毒はいろいろ種類がありますが、その中で恐ろしいものはムスカリンと稱せられてゐます

榮養料理の獻立を陳列

科學館の試み

恩賜記念科學館では臨戰態勢下の國民食糧問題に解決の示唆を與へるため、食糧協會朝鮮本部の好意によつて多年の研究になる榮養料理の獻立を模造品で製作し去る四日から判りやすく陳列して勞務者や坐業者の食事、研究の時間食、學校兒童の辨當、その他一般の食事に深い關心を持つ主婦に對して參考に供してゐる

高く買つた者も

暴利取締令で罰せられる

京城の商店を語る【下】

◇梅木商見（京城府物價課長）品質が落ちたり品不足を來たしてゐることは事實で、京城には一日約八千貫の魚が今まで入つてゐましたが、最近は二千貫から五千貫位しか入らないやうになつてゐるため、自然全體的に不足してゐますこれは燃料關係のため沿海漁業が少くなり、魚獲高も減少したからです、しかし一般大衆の生活に困らないやうに種々の打開策は講じてをりますが、從來のやうに潤澤に出廻るといふ譯にはゆかぬでせう、市場などでよい物も惡い物も同じ公定價で賣るといつて苦情をいふ人もありますが、現在公定價としては最高價格なので高公定價で賣るのは無理のない所

◇鈴木武雄（城大教授）…

◇みすゞ會　九日（木）午後二時からボアグランで開催、詠草大島町三三一守永愛子氏あて送附のこと

…です、暴利取締令が出て高く買つた者も罰せられる樣になりましたが、決められた利幅ではやつて行けない小賣商が多い模樣です

不連續線

鐵路

鐵道線路に沿つた南へ南へと、私と娘とは南へと歩いた。

いつしか道は小さな丘を越しても、次の丘を越しても、その山を過ぎても、湖はなかなか見えなかつた。

雜木林の中に入つて、そこには踏みくだかれた栗のイガが散らかつてゐたが、枝を叩いでも、それらしいものはなかつた。

また、線路沿ひに道が開けた。黑く光る鐵路は果てしなく續いて、もう私も娘も、輕い汗を額に覺えた。

『もう、どの位歩いたでせうか』

『だつて、ほんたうに一キロ八と書いてあつたのかい』

それ程もお互は疲勞と倦怠とを覺えて來た。

『まあ、待つて御覽。あの右手の山を越えると、向ふに西湖といふ湖が見えるから。さうすれば、そこがもう水原だから』

しかし、その山を過ぎても、湖はなかなか見えなかつた。

『お父さまの西湖、陰しいのね』

『ふん。お前の一杯八と同じか』

水の涸れた川原の枯草に腰を下ろして、水筒のサイダーを飲みながら仰ぐ空には、白い雲が悠々と流れてゐた。

腕時計は十二時近くを指して、歩きはじめてから、もう一時間半を過ぎてゐた。

『さ、晝飯の時間だよ』

私と娘とは、稻田の畦に佇立して、静かに頭を垂れた。すると、その横を汽車が轟々と過つた。

吉木梓時局舞踊研究會

九日（木）靈夜府民館で開催

一昨年舞踊詩『聖戰』六部作を昨年は紀元二千六百年奉祝舞踊詩『大東亞』の大作を完成して、舞踊新體制を標榜し、日本精神を舞踊化しつ、ある半島舞踊家の名吉木梓氏は來る九日（木）午後一時と六時半の晝夜二回に亙り府民館大講堂において時局舞踊研究會を開くことになつた、今度の發表作品は主として時局的な小品であるが、中でも國民總力の歌を舞踊化したもの及び『土と兵隊』『麥と兵隊』…

生活樣式改善と

非常時服裝

經濟と活動を基に

戰時國民生活展より（4）

☆……我が國では生活樣式が複雜で衣服の種類が多いため、統一された非常時服裝といふものが女子においてはまだ進んで居りませんがこれは全ての婦人が眞劍に考へてみなければならぬことです、次に日本人族に婦人は着物を餘り持ち過ぎてゐます私達は今こそ自分自分の衣服について強い反省をして、眞ふ日本の國民らしく出來るだけ少い數で能動的に働きたいものです、

☆……次に國民衣服について標準指數を參考としてきめてみました

男子は洋服二着、仕事用ズボン二着、仕事用下衣二着、ジヤケツ一着、冬、防寒外套各一着といつたところ、女子は洋服二着、仕事着二着、台所着一着、ジヤケツ一着、防寒外套又はコスチューム一着、冬外套一着、下着類では男子ワイシヤツ二着、シヤツ二着、ズボン下三着、靴下六足、ハンカチ六枚、女子は肌着二着、シユミーズ二着、靴下六足、ハンカチ六枚、以下は大體洋服ですが

◇……和服は普通の長袖のきものについていへば、これは經濟的な點からも、働きの點からも、

もとく働く生活の中から生れたものではありません、ちよ…

日の男子の和服が非常となつて…

京日俳壇

秋季雜詠　高濱虛子選

滿州　川西笠人
門深く夜學の灯見ゆるなり
船の灯のまたゝき遠く天の川
井州　日高宗馬
日を戶にあてゝ厄日の百姓家

鹿兒島　樋井迦陵
戰風の雲のとびつゝ大樹かな
椅子運びゐる閑丁に秋の蝶
夜半の雨聽きし覺えや秋の蛟帳
京城　辻五十一
崩れたるまゝに門あり秋の風

秋季雜詠

十月廿日締切◆官製ハガキに一人一枚、印限り詠め五枚以內のこと◆京城日報社學藝部『京日俳壇』あて

京日文化映畫劇場

九日より・新番組

1. 滿映通信（三八號）
2. 我等は空に 陸軍省監修・鈴木傳明・赤坊一賓の審査
3. …
4. 南進二千浬
5. 日本ニュース（六九號）

今夜の番組

松竹明治座（十一日から）…

城南映畫劇場…

京城映畫劇場…

三國志【626】

赤壁の巻（三）

吉川英治作　矢野橋村畫

けふの市況

株式 總見送り 凡調

實物保合

生糸 變らず

鮮魚青果市況

花形十人拔大碁戰

勝繼戰

白の勝賽確定